

岡山青年部だより

700-0985

岡山市厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 2F

(社) 岡山ビルメンテナンス協会 青年部会

TEL: 086-225-8660

Eメール: okbm1@lime.ocn.ne.jp



26号

編集・発行: 社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部会広報委員会
 平成19年9月21日発行 (通算26号)

高戸体制スタート!

平成19年度 青年部総会開催

平成19年度青年部総会が、20社の出席により5月29日(火)16時から、ホテルグランヴィア岡山において開催された。会議は平成18年度事業報告・決算書の承認、平成19年度事業計画・予算書案が承認され、任期満了に伴う役員改選へと進んだ。

小川部会長より部会の活性化を図るため次期部会長として高戸賢一氏が推薦され、満場一致で承認され、高戸氏が就任を受諾された。

その後高戸新部会長より副部会長として宮下桂一氏・小川亮人氏に指名があり、共に受諾、満場一致で承認され高戸体制がスタートした。

なお、19年度各会員の所属委員会案が併せて承認され、各委員会の正副委員長は合議で決められた。

今年度の主な事業計画は以下のとおりです。

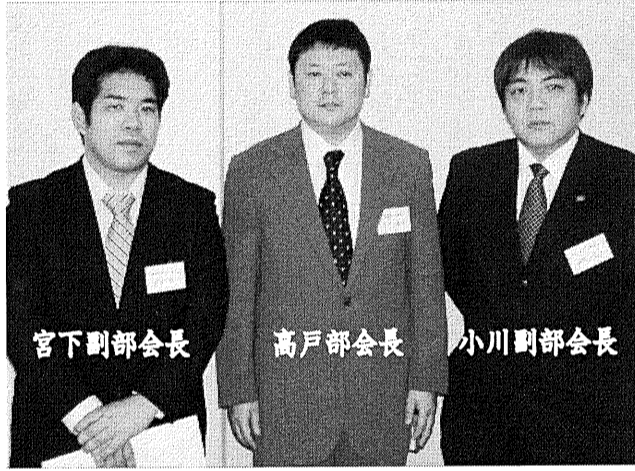
1. 部会員の交流を通じて団結を図るため、従来からの新年全体会議・新年会に加えて、日帰り程度の研修旅行を計画する。
2. 広報活動の一環として、「青年部だより」を年度2回(6月・12月予定)発行すると共に、ホームページの更なる充実活用・運用を図る。



3. 企画研修委員会による「研修会」を来月2月に計画し、親会で計画されている「48時間講習」へ部会員の積極的な参加を求め青年部会の資質向上を図る。

4. 協会の公益法人活動の一環として取り組んでいる、「清掃作業従事者研修指導講習会」「シニア講習会」並びに「ピルクリ検定対応講習」等への講師の派遣に積極的に取り組む。

5. 青年部全国大会(秋田県開催予定)を始めとした他地区との交流に積極的に取り組むこととする。(山内)



部会長就任挨拶

この度、青年部部会長を仰せつかりました高戸です。

五月二十九日に開催されました平成19年度青年部総会でご承認いただき、3ヶ月が経過いたしました。

この間、既に(社)鳥取県ビルメンテナンス協会青年部会発足懇談会、西日本サミットin福岡等の事業がございましたが、執行部役員様、会員皆様、事務局様のご支援、ご協力を賜り、拙いながらも役責を果たすべく、務めてまいりました。

この様な大会等に出席する毎に、その職責の重さを再認識いたしております。そこで地域特性を活かした独自事業の

企画、運営による各地青年部会の活性化を目的にいたしますと、岡山青年部会も乗り遅れまい、目立つ存在になろうといった気持ちで湧き起こってきます。

もちろん大都会とは違い規模を活かした大きな事業はできませんが、小規模ながら特色ある活動をしている青年部の活躍を見ますと、岡山でも特色ある独自の事業ができるのではと考えます。

果たして今の自分に皆の共感を得るような方針があるだろうかといった自問を繰り返して、自身の能力の無さを痛感いたしました。

青年部会をより活性化していく上で大層甚大に構えるのではなく、設立時の趣旨にもどり、地に足をつけた活動をすべく、顧みるべきではないかと思っております。

業界を取り巻く厳しい環境の変化に伴い、このままでは我々の生き残りの道は閉ざされるであろうとの危機感からかねてより声があり、平成七年十月二十日に青年婦人部として第一回全体会議が開かれました。

この危機感をいたすに燃えることなく青年部のあり方として環境の変化への対応が求められていたのであると思えます。

事業なり、今後の運営を考えていく上で、思いつきで行動することなく将来を見据える為に少し腰を落ちつける必要もあるかと思えます。

今後の青年部のあり方として、この設立時の趣旨に副った事業を企画、運営し、一過性ではない、永続的な活性化を遂げたいと考えております。

延いては青年部だけでなく業界発展の一助になれば幸いです。

引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

三 要電熱工業(株) 高戸 賢一

副部会長就任挨拶

この度、岡山ビルメンテナンス協会青年部副部会長に就任することになり責任の重さを痛感しております。

さて、今年の青年部は他県との交流会などが企画されており他県の青年部の方々の話を聞き交流を深め、この先のビルメン業界に何が必要かを考えたいと思

います。

その為にはまず地元で青年部が一丸となり、目標を立て一つのことを何か作り上げられれば良いと思えます。

明るく楽しく元気のいい青年部にしたいと思えます。

広報委員長就任挨拶

今期、よく分らないうちに、藤原前委員長より委員長職を引き継いだ形になりました。

前委員長には副委員長として、引き続き補佐していただくということですので、お引き受けすることにしました。

ほとんど前期のメンバーが残ってくださり、力強い限りです。

また、矢田さんという青年部創成期の生き字引が入ってくたさり、委員会を開くと話が止まらない状況です。

福井さん、高上さん、黒住さんの豪華メンバーで、広報委員会は楽しくやらせてもらっています。

皆さんのエネルギーで運営していただいています。有難いことです。

「青年部だより」、「ホームページ」を使って、出来る限り、青年部がやっていることを会員に知ってもらおうようにしたいと思えます。

各委員会もホームページの掲示板に活動報告を載せてくだされば、会員にも知ってもらえる機会が増えますので、よろしくお願いたします。

(株)サンヨービルマネジメント 山内 秀明

副部会長就任挨拶

この度、岡山ビルメンテナンス協会青年部副部会長に就任することになり責任の重さを痛感しております。

さて、今年の青年部は他県との交流会などが企画されており他県の青年部の方々の話を聞き交流を深め、この先のビルメン業界に何が必要かを考えたいと思

います。

平成19年度 青年部会 役員名簿

| | | |
|------|-------|-----------------|
| 部会長 | 高戸 賢一 | 三 要電熱工業(株) |
| 副部会長 | 小川 亮人 | アトラクティブ大永(株) |
| 副部会長 | 宮下 桂一 | (株)明和ビルサービス |
| 幹事 | 上村 大作 | (株)第一美装 |
| 幹事 | 都井 宏 | (株)サビックス |
| 幹事 | 山内 秀明 | サンヨービルマネジメント(株) |
| 幹事 | 永谷 宏 | (株)日 建 |
| 幹事 | 後安 俊伸 | (株)研 美 社 |
| 監査 | 麻田 浩 | 倉敷警備保障(株) |

平成19年度 青年部会 委員会組織図

| | | | | | |
|------|-------------|------------------|--------------|--------------|-----------------|
| 委員長 | (株)研美社 | 企画研修委員会 | (株)日建 | 広報委員会 | サンヨービルマネジメント(株) |
| 副委員長 | アサヒ化工(株) | (有)西大寺環境施設管理センター | (財)岡山県愛染会 | (財)厚生会 | 美作内外美装(株) |
| 委員 | 津山ビル管理(有) | 西日本建物管理(株) | (財)厚生会 | アトラクティブ大永(株) | (株)瀬戸内ビルサービス |
| 委員 | 日本ビル管理(株) | (株)西日本テムシー | 美作内外美装(株) | (株)瀬戸内ビルサービス | (株)サントップ |
| 委員 | (株)明和ビルサービス | (株)アラキ | アトラクティブ大永(株) | (株)サントップ | ビューテック中国(株) |
| 委員 | (株)シフト | (株)不二ビルサービス | (株)瀬戸内ビルサービス | ビューテック中国(株) | 岡山支店 |
| 委員 | 太平ビルサービス(株) | 岡山支店 | (株)第一美装 | (株)サントップ | |
| 委員 | 岡山支店 | (株)山陽セフティ | (株)山陽セフティ | 岡山支店 | |
| 委員 | (株)サビックス | 倉敷警備保障(株) | 倉敷警備保障(株) | | |
| 委員 | 三 要電熱工業(株) | | | | |

岡山BM協会 新会長に宮下氏就任

さる五月十八日(旭岡山ビルメンテナンス協会総会にて満場一致で宮下正晴氏(株明和ビルサービス代表取締役)の会長就任が承認されました。

また、副会長には小川昌作氏(アトラクティブ大永代表取締役)、高戸正勝氏(三菱電機工業)がそれぞれ就任されましたので、あわせてお知らせします。

(事務局)

会長就任挨拶

明和ビルサービス 宮下 正晴



開催の、(旭岡山ビルメンテナンス協会)にて任期満了に伴い役員改選があり、林前会長の後任として会長職をお引き受け致す事となりました。

今回の改選においては、新任理事三名と、近年にない大幅な変更がなされ、我々業界を取り巻く環境の変革スピードに対応すべき布陣をもって、役員一同努力して参りますので、会員の皆様におかれましては、委員会活動を中心に、ご協力の程よろしくお願致します。

協会内部の活動につきましては、委員活動の活性化を通じて風通しの良い協会運営を目指すと共に、会員相互の交流を深めてまいります。

また、青年部会におかれましては、従前より、協会運営にご協力頂いておりますが、本年度は、シルバークラスを始めていたしまして、さらなるご協力をあおぐ事と存じますが、よろしくお願致します。

幸い、協会理事に、上村氏をお迎え致すなど、協会との意思疎通においては、従来に無い環境にあると思っております。

青年部会活動につきましては、近年、他地区青年部との交流が活発になされ、力をつけられているように思います。

各地に後発青年部が誕生しており、先進的青年部として、さらなる躍進がなされる事を期待しております。

協会といたしましても、必要とされる

活動につきましては、積極的に協力をし、てまいる所存であります。青年部会パワーを協会運営にもご協力いただく事を重ねてお願い致し、挨拶と致します。

労働安全衛生委員会 (親会)の活動報告

岡山ビルメンテナンス協会の労働安全委員会(小川委員長以下7委員)は、本年度の活動方針として、協会加盟会社全社に対して、安全パトロールを実施することを決定し、5月よりその活動を開始しました。

今回の安全パトロールの主旨は、平成17年度の岡山県ビルメンテナンス業の労災収支率が292.5%という全国ワースト2という不名誉な結果を真摯に受け止め、会員企業の皆様に労働安全の重要性の周知と企業内の安全管理体制の取組状況等を点検・確認させていただくことと他の企業にも参考になるような安全活動の取組状況を取り上げ会員企業の皆様の今後の活動の一助になるような情報収集を目的としています。

当初は、安全委員会の参加企業のパトロールを6月までに終了させ、7月以降順次会員企業を訪問させていただき予定で計画されております。

青年部会の皆様のごところにも訪問する機会がありますので、その節は、宜しくご協力をお願いします。(矢田)

鳥取県ビルメンテナンス協会 青年部発足懇親会に出席して

7月20日、鳥取県ビルメンテナンス協会の総会において同県青年部会が発足し、そのお披露目の懇親会に宮下副会長と小川で参加させて頂きました。

「業界を縦糸と横糸からできた布で、互いには、今まで以上に横のつながりを大切にしていくべきである」との、青年部のみならず協会の存在意義を追求した何とも感銘すべきお言葉がありました。

鳥取の青年部会は、33社中(正・賛助会員合わせて)20社からなり、所属する皆様は正式に立ち上がる前から中国地区をはじめとする各県の青年部会活動に積極的に参加なさっており、今後も活気ある活動が期待されます。

今回は、米子市長や今年度就任された広島市の甲村健治部会長、山口統投の霞谷光哉部会長をはじめとして中国地区を中心とする各県の青年部のメンバーが出席しました。

遠くは福岡から西日本サミットの吉次正利委員長が出席され、8月24日に開催される西日本サミットの趣意説明がありました。

人材の確保や雇用のスタイル等、地区を問わず業界が避けて通ることの出来ない諸問題について様々な議論を交わし方向性を見出すことが大きなテーマです。

尚、吉次委員長は、お話がユーモアに富んでいて某芸能人に酷似しています。さらに、実は鳥根でも青年部会が発足をされており、石井信幸部会長からご案内がありました。(個人的に存じ上げなくて申し訳ございません)

鳥根青年部会が6月21日に10名で立ち上げをなさったということで、鳥取の皆様と同じく発足前から様々な活動をなさっておられました。

2次会では改めて中国5県全てに青年部会が所在できたことを共に喜び、盛大な交流が行われました。

今後の具体的な外活動について、特に中国地区での青年部会同士が交流していく手段について様々な提案が出されました。

既存の定期的な交流に2県の仲間が加わり、中国地区の青年部会はこれまでで

上に若年世代の交流と地域間情報の交換が行われることでしょう。

余談ですが、今回の懇親会は肝機能の大変優れた大御所のお隣にお席を頂き、恐縮ながらお酌を頂戴して頂き、中国地区の皆様を尻目に熟睡を余儀なくされ、最後までお付き合いできなかったことを心よりお詫び申し上げます。(小川)

西日本サミットin福岡 参加報告

8月24日、福岡サンパレスにおいて、「未来発見サミット!競争から共生へ」をテーマに掲げ、福岡青年部主催による「西日本サミットIN福岡」が開催されました。

西日本各地区のビルメンテナンスに関わる青年が、同じ時間・同じ場所に集うことにこそ本イベントの第一義があるわけですが、九州から7団体、四国から4団体、中国から4団体、さらに遠く東北から9月に全国大会を主催する秋田青年部も参加し、登録者数100名を超える盛大な会となりました。

岡山青年部からは高戸部会長はじめとして、9名の役員のうち当日のスケジュール調整が可能だった5名が参加いたしました。

大会は3部構成からなり、
第一部 式典
第二部 4会場に分かれての
①「社会保障問題」
②「人口減少問題」
③「官から民へ」
④「プロパティマネジメント」
についてのディスカッション。
第三部 ディスカッション結果報告
および西日本サミット宣言

という流れで進行しました。テーマの選択は今われわれが考えるべきものであるとして適切であったと思われ、各グループの



ディスカッションがスムーズに進行するよう講師・オブザーバー・コーディネーターを配備するなどの演出も行き届いており、結果参加意義の高い大会となりました。

なお大会前の部会長会議において、主催を各団体で持ちまわる形で今後も「西日本サミット」を継続開催しようという目標が西日本各地区青年部の共通意思として確認されたようです。

大会後の懇親会...
水炊きとモツ鍋を御馳走になり、これがとても美味しかったです。

また吉次サミット委員長の司会でアトラクションも行われたのですが、その内容の充実もさることながら、氏の司会スキルが素晴らしい、楽しい思い出となりました。

学んだこと、頂いたご縁、ありがとうございました。
福岡青年部のみなさま、当日一緒に過ごしていただいた全てのみさまに、心よりお礼申し上げます。(麻田)

清掃作業従事者研修 指導者講習会開催

建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第二十条に基づく「清掃作業従事者研修指導者講習会」が、去る六月五日に岡山商工会議所ビルにおいて開催された。

今回も、再講習者六十一名・新規講習者十一名の七十二名にのぼる受講者が、熱心に受講された。岡山協会としては、講習内容に工夫しており、毎年受講される方も多数あり、毎年好評のうちに推移していると思われる。

本年度の特徴は、岡山県の労災収支率改善に向けた取り組みとして、労働安全に関する講習に工夫した事といえる。労働安全については、平成十八年度より、ビルメン業界においても、「リスクアセスメント」への取り組みが努力義務として課せられた関係上、今回の講習において、労働安全衛生コンサルタントの中嶋和夫先生を講師に招き、その手法につき、丁寧な解説がなされた。「リスクの洗い出し」→「重篤度・頻度によるリスクの見積もり」→「優先度の設定」→「対策の実施」→「実施内容の記録」のステップを通し

て従来の「再発防止型」から「未然防止型」への取り組みが求められた。

また、清掃技術については、賛助会員の株式会社リンレイ様より、「木質系床材のメンテナンス」についての講習をいただいた。

また、今回の講習より、講習内容の充実を図る一環として、新規講習については、講師を青年部会の協力を求め開催する方針のもと、今回は、麻田・新木両氏の派遣をいただいた事感謝致します。

講習会と合わせて受付をした研修実施状況報告書(様式六一)証明件数は、七十一事業所でした。

来年度開催につきましては、清掃作業委員会を中心として準備を進めてまいります。来年度につきましては、開催日が、六月十日の第二火曜日に岡山商工会議所ビルにて行います。清掃技術等のカリキュラム内容につきましては、ご要望がございましたら、岡山協会事務局までご連絡下さい。極力皆様方のお役に立つ講習を目指してまいります。また、その節は、青年部会皆様のご協力を仰ぐ事と存じます。宜しくお願致します。(事務局)

青年部研修会が 開催されました

さる2月14日(水) 青年部研修会が岡山南ふれあいセンターにて、20名の参加で開催されました。

今年度は事務局からの希望もあり、「交通安全」がテーマで行われました。講師は岡山県岡山南警察署、交通課長多田典正氏。

岡山南警察署の管轄だけで毎日20〜30件の交通事故が発生し、処理するのですが、多田講師はその全ての事故処理報告書に目を通されていること、最近の交通事故の傾向・特徴、また事故を起こしやすい運転者の性格まで分りやすく話していただきました。

多田講師にはお忙しい中、有意義な講習をしていただき本当にありがとうございます。(HPより抜粋)

お詫び
今回、青年部だよりの発行が当初の予定(7月)より大幅に遅れたことをお詫びします。 広報委員会

